



大磯小学校 学校だより

令和6年12月24日

【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀



早いもので、あっという間に年の瀬を迎えることとなりました。

一年の中で、最も長い2学期、実に様々な子どもたちの姿を見ることができました。

遠足や校外に出での学習、音楽学習発表会に表現活動発表会、キャンプに左義長再現等々…。それぞれの行事を通じ、子どもたちには個々の学びがあったことと思います。一生懸命がんばる中で見られた素敵な笑顔や、真剣そのものの表情に、これまでの努力や成果が垣間見えました。その一つ一つの学びを、今後の成長の糧にしてほしいと思っています。



1年生は松ぼっくり拾いに大磯中学校へ。松ぼっくりやドングリを使って、おもちゃ作りをし、園児をもてなしました。その姿は、もうすっかりたのしいお兄さん、お姉さんでした。



左義長再現においては、サイト作りから、芦川酒店の芦川さんをはじめとした、左義長保存会の皆様にご協力いただきました。そのおかげで、各クラス立派なサイトが完成しました。

大魚旗を振りながらの「ヤンナゴツコ」。みんなで大きな声で歌った「東京音頭」…なぜかアンコールが起きていましたね。見ていてとても楽しかったです。



提灯、達磨、ハチマキにお面…それぞれ選んで作った作品を見せてもらいました。声をかけると、快く見せてくれる6年生たち。私も初めて知るものがあり、興味深かったです。



4基のサイトに火が点いた様子は、なかなか見ごたえがありました。クラス毎のサイトで、子どもたちは思い思いに団子やマシュマロを焼いて楽しんでいました。

左義長の行事を知らなかった子どもたちもいたようです。国の無形民俗重要文化財に指定されているこの行事、子どもたちの手に受け継がれていくことを心から願います。1月の実際の左義長にも、これを機に、たくさん子どもたちが参加できるといいですね。

写真のあった行事だけ載せましたが、これだけではなく、校内音楽学習発表会、表現活動発表にも、お忙しい中、多数ご参観いただきまして、ありがとうございました。

様々な学習に、保護者の皆様のボランティア協力をいただいているおかげで、充実した学習活動ができていることに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。同時に、地域の皆様にも、ご理解とご協力をいただいているうえで実施ができていくこと、併せて感謝申し上げます。

学校は、保護者や地域のご理解ご協力がなければ、なかなか立ちゆかない場であると思っています。各種ボランティアへのご参加、PTAのサポ活動によるご協力、それぞれにお礼をお伝えできておらず、心苦しいのですが、この紙面を借りて、お礼申し上げます。

3学期も様々な場面でご協力いただくことがあるかと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今年は冬の訪れが急に感じられました。年末年始にはかなりの冷え込みが予想されています。インフルエンザの流行も、流行注意報が発令されています。2学期中は学級閉鎖になることはどうか免れましたが、他の感染症の流行もあり、気が抜けない状況ではあります。お子様はもちろんですが、保護者の皆様も、どうぞお身体ご自愛のうえ、良い年末年始をお迎えください。

